

# 博士後期課程Ⅱ期

平成 31 年度

武蔵野大学大学院 文学研究科 博士後期課程 入学試験問題 (1 月 13 日)

## [ 専門科目 ]

次の①、②、③、④、⑤、⑥から2つを選択して、それぞれの設問について答えなさい。

(1 問につき 800 字程度を解答の目安とする。なお、解答は別紙の解答用紙に記入すること。)

- ① 添付資料は、ある日本古典文学作品の写本の冒頭部である。まず、この崩し字を全て翻刻しなさい。  
さらにその作品名と作者を明らかにした上で、当該作品の特質について説明しなさい。  
(翻刻と説明を合わせて 800 字程度)
- ② 日本古典文学のうち、平安時代の物語と鎌倉・室町時代の物語それぞれの特質と、その間の展開について説明しなさい。
- ③ 日本の伝統的な芸能について、具体例を一つ以上挙げ、東アジアの芸能と比較してその特質を説明しなさい。
- ④ 日本古典文学のうち、江戸時代の俳諧の特質とその展開について説明しなさい。  
ただし、説明の中で貞門、談林、蕉門それぞれの作風には必ず触れること。
- ⑤ 「音読から黙読へ」ということを軸に、日本の近代文学の成立について具体的に述べなさい。
- ⑥ 「近代文学から現代文学へ」ということを軸に、日本の文学史について具体的に述べなさい。  
あわせて文学史の意義をめぐって、自由に論じなさい。